

### 会社概要

株式会社コミュニティネット 本社/名古屋市中区錦2-19-18▶設立・1999年5月▶資本金・1000万円▶売上高・1億円(2006年9月期)

# 起業家新時代

## コミュニティネット

歴史ファンを増やす  
広告企画制作の小さな巨人

富永一成社長(47)



「1人でも多くの歴史ファンを作り、ゆかりの土地や資料館に足を運んでもらうような仕事ができれば」こんな理想を実際のビジネスとして実現させ、急成長している会社がある。広告企画・制作会社のコミュニティネット(名古屋市中区)は2005年11月、坂本龍馬など歴史上の人物の肖像画や写真などを載せた切手シートの販売を開始し、この世界では異例のヒットを続けている。広告制作会社に勤めていた富永一成は04年にコミュニティネットの社長に就任した。コミュニティネットはそれまで企業向けのウェブコンテンツやカレンダーの制作を行っていたが、社長就任時から「経営の多角化を進めたい」として自分の趣味である歴史関連でのビジネスを模索していたという。そんなとき、知人の切手メーカーから坂本龍馬の写真付き切手を出せないか、という打診があった。

だが、社長就任時から「経営の多角化を進めたい」として自分の趣味である歴史関連でのビジネスを模索していたという。そんなとき、知人の切手メーカーから坂本龍馬の写真付き切手を出せないか、という打診があった。

切手といえばかつては郵便局、現在は日本郵政公社のみが制作・販売するものと思われているが、実は03年4月に郵政公社が始めた新サービスで、個人や企業が好みの写真やイラストを取り込んだ切手シートを作成し、販売できるようになった。

坂本龍馬といえば歴史上の人物では最も人気のある人の1人だ。それだけに、肖像画や龍馬ゆかりの書簡や資料などを切手に載せるために、「誰が何を所有しているかを探し出して、どう使用权を許可してもらおうかが一番の難関でした」という。

暗中模索の日々が続くなか、幕末と明治維新に関する全国でも唯一の歴史博物館である京都の霊山歴史館に行き当たった。「坂本龍馬関連の著書など多い学芸課長の木村幸比古さんに直談判して、ご協力いただきたいのが大きかったです」という。これをきっかけに全国に散らばる龍馬関連の書簡や資料などを持つ所有者に協力を仰ぎ、使用权を許可してもらったという。

第1弾の発売は龍馬生誕170年

となる05年11月15日。写真付き切手の専門店「フォーユー」(名古屋市中区加藤陽介社長)と共同で、龍馬の書簡の写しや関係者の肖像などを取り上げた「人物編」と「京都編」の2シートの販売を開始した。80円切手10枚つづりのシートで価格は3000円。

通常、3000セット販売できれば大ヒットといわれる切手シートだが、いずれも3000セットを突破し、現在もコンスタントに売れているという。今年3月には龍馬の生誕地の碑や家系図、ゆかりの人物などを織り込んだ「高知編」を発売、5月には新撰組「池田屋事件編」や、今年のNHKの大河ドラマで主人公となっている戦国武将の山内一豊の切手シートも商品化した。

### 切手で感動を伝えたい

富永が歴史上の人物を商品化する際、常心がけているのが「歴史の顕彰活動」という。「ただ絵柄をつなぎ合わせるのではなく、書簡や肖像画を通じて、その人物が歴史上どんな役割りを果たしたか、といったことを商品を通して伝えていきたい」という。

07年は海援隊結成と龍馬没後140年となる。「これを記念して、11月には切手だけでなく20種類のポスト

カードの販売を開始しました」。これまでの購入層は「全国津々浦々、年齢男女を問わずに購入してくれています」という。

もともとは歴史に全く興味があなかったという富永。しかし、学生時代に見たNHKの大河ドラマ「勝海舟」に関連する歴史小説を読んだ日から「180度世界観が変わり、歴史に興味を持つようになりました。この経験、感動を1人でも多くの人に伝えたい。それを切手という商品を通じて行えれば」という。

切手やポストカードに加え、「坂本龍馬」「新撰組」「明治の偉人の珠玉の一言」などの卓上カレンダーの販売も始めている。「商品を通して歴史に興味を持ってもらい、関連する書籍を読んだり、ゆかりの地や資料館を訪れるなど、地域の発展などにつながっていくような好循環ができればいいと思っています。僥越ですが、切手やカレンダーがそのためのきっかけ作りになることを願っています」と富永はいう。(編集部、敬称略)

会員募集中



企画協力

毎日起業家クラブ

〒100-8051 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1  
TEL.03(3213)3070 FAX.03(3213)2838